

たすけあいちば

千葉県たすけあい協議会

〒260-8508

千葉市中央区千葉港4-3

県社協ボランティア・市民活動センター内

TEL：043-204-6010 FAX：043-204-6015

第 52号

2017. 3

発行責任者 中戸 幹郎



もう始まっている 2025年問題

特定非営利活動法人 市民助け合いネット 弘田 娃子 (流山市)

高齢者・障がい者の生活支援活動を始めて13年が経過しました。ここ数年、生活支援を求める方や依頼件数が増え、高齢社会の深刻さを実感する毎日を送っていますが、高齢者・障がい者の方から「ありがとう助かりました」の声をいただくと、活動を続けていて良かったという喜びを感じています。

2025年には、65才以上の方の5人に1人が認知症になると言われていますが、最近早くもその兆候が顕著に表れている気配を感じます。当会では生活全般の支援を行っており年間6千件を超える依頼を毎日、6人のスタッフが交替で受付けていますが、その中でも車による病院等への送迎が6割を占め、その対応に四苦八苦しています。

以前から受付には細心の注意を払い、利用日時、配車時間等、何度も復唱し確認していますが、約束の時間に行ってみると忘れて用意をしていなかったり、申し込んでいたのを忘れてタクシーで行ってしまったりが増えてきているため、サービス提供者には1時間位前に「今日は病院へ行く日なので〇時に行きますからお仕度をして待っていてください」と電話をしてから利用者の家に向かってくれるようお願いしています。

また、一方では部屋中物が溢れて足の踏み場のない状態の「片づけられない症候群」があります。「衛生上よくないので片付けましょう」とケアマネさんの勧めで、「掃除機をかけられる状態までにして欲しい」と言う様な依頼もよくありますが、「物がどこかにいってしまった」と言われないうちに片付けるのは大変なことです。

これから、このようなケースが益々増えていくことは確実でしょう。トラブルがないよう気をつけながら、利用者さんのご要望に応じていくことの難しさを感じている今日此頃です。

新地域支援事業 推進協議会の活動状況は

会長 中戸 幹郎

千葉県新地域支援事業推進協議会は、改正介護保険法により平成27年4月から導入された新地域支援事業を推進するために、NPO、ボランティア、社会福祉法人、協同組合、民間企業等が積極的に生活支援サービスの運営や開発に取り組むよう支援するとともに、地域社会の助け合い活動を拡大・推進することで新たな地域社会づくりをしようと、平成27年6月6日に設立されました。

現在の加盟団体は、下記の13団体です。千葉県たすけあい協議会も発足当初より活動しています。

千葉県新地域支援事業推進協議会会員団体一覧

番号	団体名	代表者
1	移動支援ネットワークちば	松浦 光恵
2	公益財団法人さわやか福祉財団関東ブロック千葉	國生 美南子
3	たすけあいチーバくん	滑川 里美
4	NPO法人千葉県介護支援専門員協議会	水野谷 繁
5	社会福祉法人千葉県社会福祉協議会	白戸 章雄
6	一般社団法人千葉県社会福祉士会	渋沢 茂
7	公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会	佐々木 昌弘
8	千葉県生活協同組合連合会	鳥羽 治明
9	千葉県たすけあい協議会	中戸 幹郎
10	千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会	綱島 照男
11	千葉県ディサービスセンター協会	田邊 信行
12	公益財団法人千葉県老人クラブ連合会	菅谷 長藏
13	NPO法人ちば地域密着ケア協議会	菊地 民雄

《平成27年度 活動状況》

6月6日 新地域支援事業推進協議会設立記念事業（千葉市生涯学習センター）

講演 「新しい地域支援事業における地域アセスメントの必要性と協議体・生活支援コーディネーターの役割～住民主体の地域包括ケアシステムの構築に向けて～」

日本社会事業大学社会福祉学部 准教授 菱沼 幹男氏

2月29日 改正介護保険法における生活支援体制づくりセミナー（千葉県経営者会館）

講演 「生活支援体制整備の重要性について」 さわやか福祉財団 堀田 力氏
パネルディスカッション&グループ討議

《平成28年度 活動状況》

6～8月 千葉県内54市町村の生活支援体制整備事業実施状況等ヒアリング
介護予防・日常生活支援総合事業の体制整備を進めるために、新たな仕組みとして導入された「協議体」「生活支援コーディネーター」について各市町村を訪問しヒアリングを実施した。

11月8日 生活支援体制づくりセミナー（千葉県社会福祉センター）

11月25日 生活支援体制づくりセミナー（鴨川市市民会館）

1月25日 生活支援体制整備の推進に向けた勉強会 香取市会場（小見川市民センター）

1月26日 生活支援体制整備の推進に向けた勉強会 白子町会場（白子町役場）

上記の2会場での勉強会は、さわやか福祉財団との共催で実施。戦略アドバイザー土屋氏の講演等の支援をいただく中で実施しました。

《平成29年度 活動計画》

次年度は、下記活動を計画中です。

- (1) 全市町村を対象にした情報交換会の開催
- (2) 支援を希望する市町村へのアドバイスをする
 - ・直接市町村に出向いてアドバイスする
 - ・市町村が開催する勉強会で講師として参加者にアドバイスする



2017. 1. 25 香取市会場

印旛・山武ブロック研修会 より 2016.12.10

井戸端介護 伊藤英樹さんとふきのとう 國生美南子さんをお迎えし、受講者34名がくるま座になり、印象に残る言葉をたくさん聞くことができました。

「制度の枠にとらわれず人として尊重する支援がしたい、もう一回生まれ変わりたいと思う社会にしたい」と伊藤さん。「各々があたたかく楽しいと思える場所づくりを、細々でも続けて行かれれば良いと思う」と國生さん。他にも制度の仕組みを柔らかい真綿のようなもの（母性）にしていったらいいのではないかな？介護事業所をベースにした「小さな共同体」がいくつもあちこちにあったらいい、などなど。

(助け合いネットさかえ 山田)

コーディネーター研修 に参加して 2016.9.24

沢山の事例から、個別支援と地域支援のあり方について学ぶことができ、自分にとってプラスになった。高齢社会が益々進み、高齢者を支える負担もすべての面で大きくなっている。いつまでも、充実した元気で健康な日々を過ごしていただくために介護に携わる私たちの元気力、優しさそして笑顔で対応しなければ、と思った。私たちが介護される立場になった時、どのような対応が、体力的・精神的に救われるかをいつも頭の中に描いていたいと思う。初心者の私にとって大いに心強い研修だった。

(市川ユアアイ協会 渡部)

一人でも多くの方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、自分には何が出来るのか？どんな価値観を持って生きているのか？何にやりがいを感じているのか？・・・日々忙しくしていると忘れてしまいがちな基本姿勢を、改めて見つめ直すことが出来ました。世代の違う若い学生さんと話し合うことも出来て、新しい発見もありました。事例発表者への山下先生の優しい語りかけと的確なアドバイスに、私達参加者までもがホッとさせられました。またハッとさせられる場面もあり、明日から頑張っていこうという気持ちになりました。

私達の会では毎月のミーティングが一つ一つのケア、会員一人一人の意見や希望が大切にされる貴重な話し合いの場になっています。自分たちの10年後20年後を見据えた活動として、地域の社会資源の一つになれたら嬉しく思います。

(生活サポートグループぱれっと 作山)